



高波が押し寄せる藤浜漁港

## 低気圧豪雨災害

10月6日(金)から8日(日)にかけて三陸沖を通過した低気圧がもたらした大雨、暴風、高波、高潮の影響で、町は近年にない大きな損害を受けました。

志津川地区の市街地などでは高潮による床上・床下浸水被害が発生、戸倉地区と歌津地区では長時間にわたり停電したほか、町内各所で冠水や倒木による交通規制があるなど、生活に大きな影響を与えました。

また、農林水産業への被害が大きく、特にカキ・ホタテ・ホヤなどの養殖施設が壊滅的な被害で、大きな爪あとを残しました。この低気圧豪雨災害による被害総額は、20億円を超える見込みです。

## 犯罪のない地域社会の実現に向けて

10月16日(月)、全国地域安全運動の南三陸地区大会が、ベイサイドアリーナ文化交流ホールで開催されました。

会場には防犯関係者約250人が出席し、始めに渡辺長平志津川支部長が全国防犯協会連合会の防犯栄誉銅賞により表彰されるなど防犯功労者が表彰されたほか、犯罪のない地域社会の実現に向けた大会宣言が全会一致で採択されました。

式典の後、大会を祝う志津川中学校吹奏楽部の演奏があり、会場を盛りあげました。



志津川中学校吹奏楽部がポップスなど5曲を演奏



誘致から今日までを振り返り、これからの発展を誓い合いました

## 「志津川自然の家」開所30年を祝う

10月21日(土)、宮城県志津川自然の家で、開所30年を記念した「志津川自然の家(旧海青)思い出を語る会」が開催されました。会には、施設誘致活動に取り組んだ期成同盟会、歴代所長・職員など約80人が出席し、スライド上映や思い出を語るスピーチなどでこれまでの歩みを振り返り、これからの施設の発展を誓い合いました。

この施設は、昭和51年12月に「宮城県志津川海洋青年の家」として開所(宿泊棟のみ。全館開所は昭和56年6月。)し、平成17年4月に現在の名称に変わりました。カッター漕艇やヨットなどの研修に、30年間で延べ50万2,250人(9月末現在)が施設を利用しました。

## 歌津公民館が完成

歌津公民館が完成し、11月1日(水)から利用開始となりました。

現公民館東隣の町有地に建設した新しい公民館は、木造2階建。地元産の木材が使われ、延べ床面積約970平方メートルです。

全館バリアフリー(障壁除去)で、1階には多目的ホール、図書室などを設置、2階は会議室や研修室、和室などがあります。

総事業費は3億3千万円。旧歌津町が昨年9月に建物工事を始め、南三陸町に引き継いだものです。

